

PAT-NO: JP406028361A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06028361 A

TITLE: METHOD AND DEVICE FOR MEETING SCHEDULING

PUBN-DATE: February 4, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
GRIFFIN, SUSAN F
GRIFFIN, DAVID L
KEANE, PATRICK J

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
INTERNATL BUSINESS MACH CORP <IBM>	N/A

APPL-NO: JP03321571

APPL-DATE: October 31, 1991

INT-CL (IPC): G06F015/21

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve meeting scheduling.

CONSTITUTION: In a block 102, it is judged whether scheduling or rescheduling of meeting is good or not. A block 104 issues command of scheduler to meeting parameter. A block 106 shows the formulation of a list of usable dates and times. In a block 108, a stored calendar event file for each predetermined attendant in a distributed data processing network is shown. In a block 110, usable meeting parameters are compared with attendant settlement parameters. In a block 114, an option picture is presented to the scheduler. In a block 116, input of the purpose of a meeting is set by selection and indication of the scheduler. Finally, an instruction is

transferred to each predeterminate attendant in a block 120, and it
is received
by each predeterminate attendant in a block 122.

COPYRIGHT: (C)1994, JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-28361

(43)公開日 平成6年(1994)2月4日

(51)Int.Cl.
G 0 6 F 15/21

識別記号 庁内整理番号
L 7052-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 9(全 11 頁)

(21)出願番号 特願平3-321571

(71)出願人 390009531

インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション

INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION

アメリカ合衆国10504、ニューヨーク州
アーモンク (番地なし)

(22)出願日 平成3年(1991)10月31日

(72)発明者 スザン・エフ・グリフィン

アメリカ合衆国 テキサス州 ケラー ロックウッド ドライブ 1521

(31)優先権主張番号 633875

(74)代理人 弁理士 須宮 幸一 (外4名)

(32)優先日 1990年12月26日

(33)優先権主張国 米国(US)

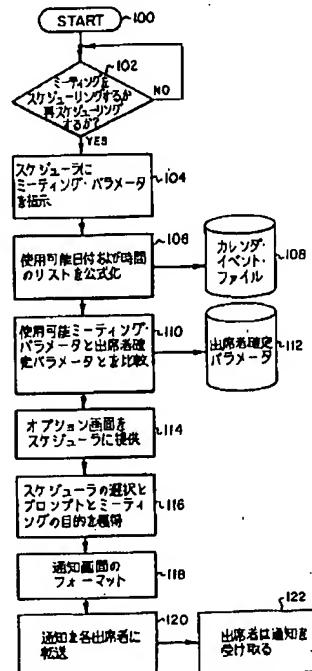
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 データ処理装置および方法

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 ミーティング・スケジューリングの改良。

【構成】 ブロック102は、ミーティングをスケジューリングまたは再スケジューリングすることの良否の判断を示す。ブロック104は、ミーティング・パラメータに対するスケジューラの指示を示す。ブロック106は、使用可能日付および時間のリストの公式化を示す。ブロック108は、分散データ・プロセッシング・ネットワークの内部の各出席予定者に対する記憶カレンダ・イベント・ファイルを示す。ブロック110は、使用可能ミーティング・パラメータと、出席者確定パラメータとの比較を示す。ブロック114で、オプション画面をスケジューラに提供する。ブロック116は、スケジューラの選択および指示により、ミーティングの目的を入力するように、セッティングする。最後にブロック120は、各出席予定者に指示を転送し、ブロック122はそれを各出席予定者が受取ることを示す。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】データ・プロセッシング・システムにおいて、前記データ・プロセッシング・システムに記憶された出席者カレンダを利用してミーティングをスケジューリングする方法であって、

スケジューラにプロンプト画面を提供し、前記スケジューラに、少なくとも、所望の出席者のリストと、所望の日付範囲と、所望の時間範囲とを含む複数の所望のミーティング・パラメータをキー・インさせるステップと、出席予定者にプロンプト画面を提供し、前記出席予定者に、複数の出席者確定パラメータをキー・インさせ、前記出席予定者が所望のミーティングに出席する条件を特定するステップと、

前記データ・プロセッシング・システムにおいて、前記所望のミーティング・パラメータと、各所望の出席者カレンダと、前記出席者確定パラメータとを比較するステップと、

オプション画面を前記スケジューラに提供し、前記所望のミーティング・パラメータと、前記出席者確定パラメータとを含むミーティング時間の選択のための、使用可能時間を表示するステップと、を含むデータ処理方法。

【請求項2】プロンプト画面を前記スケジューラに提供し、前記スケジューラに複数の所望のミーティング・パラメータをキー・インすることを許可する前記ステップは、プロンプト画面を提供し、前記スケジューラに前記ミーティングのための所望の位置をキー・インすることを許可するステップを含む、請求項1記載のデータ処理方法。

【請求項3】前記所望のミーティング・パラメータと、各所望の出席者カレンダと、前記出席者確定パラメータとを前記データ・プロセッシング・システムにおいて比較する前記ステップは、さらに前記所望のミーティング・パラメータと、前記所望の場所に対するカレンダとを比較するステップを含む、請求項2記載のデータ処理方法。

【請求項4】さらにスケジューラに、前記オプション画面に表示された使用可能時間から、正確なミーティングを選択することを許可するステップを含む、請求項1記載のデータ処理方法。

【請求項5】前記ミーティングの各出席者を通知するステップをさらに含む、請求項4記載のデータ処理方法。

【請求項6】出席予定者にプロンプト画面を提供し、前記出席予定者に複数の出席者確定パラメータをキー・インすることを許容する前記ステップは、プロンプト画面を提供し、出席予定者の出席を確定するために前記ミーティングに参加しなければならない出席者の名前をキー・インすることを、前記出席予定者に許可するステップとを含む、請求項1記載のデータ処理方法。

【請求項7】出席予定者にプロンプト画面を提供し、複数の出席者確定パラメータをキー・インすることを前記

2

出席予定者に許可する前記ステップは、プロンプト画面を提供し、前記出席予定者の参加を確定するために前記ミーティングに参加してはならない出席者の名前をキー・インすることを、出席予定者に許可するステップを含む、請求項1記載のデータ処理方法。

【請求項8】出席予定者カレンダを記憶するメモリ手段と、

少なくとも所望の出席者のリストと、所望の日付範囲と、所望の時間範囲とを含む複数の所望のミーティング・パラメータをキー・インすることを、スケジューラに許可するプロンプト画面と、出席予定者が所望のミーティングに参加する条件を特定するために、複数の出席者確定パラメータをキー・インすることを、前記出席予定者に許可するプロンプト画面と、

前記メモリ手段に結合され、前記所望のミーティング・パラメータと、各所望の出席者カレンダと、前記出席者確定パラメータとを比較する比較手段と、

前記所望のミーティング・パラメータと前記出席者確定パラメータとを含むミーティングを選択するために、使用可能時間を表示するオプション画面と、を備える、データ処理装置。

【請求項9】前記ミーティングの各出席者を通知するための通知手段をさらに備える、請求項8記載のデータ処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は一般に、ミーティングのスケジューリング、特にデータ・プロセッシング・システムにおけるミーティングのスケジューリングする方法および装置に関する。さらに本発明は、ミーティングの出席予定者に、彼がミーティングに参加するときの条件を明示させる方法および装置に関する。

【0002】

【従来の技術】ミーティングのスケジューリングにはいつも問題が伴う。これは特に、1つのミーティング・スケジューリング、すなわち1つのミーティング・スケジューラが、その参加が望まれているかまたは必要である人々に対する管理その他の制御を有しない場合である。

【0003】先行技術はまず、キーボード／ディスプレイ端末におけるスケジューリング負荷を軽減した。すなわちユーザのスケジュールは、その端末において、種々のカレンダ形式で記憶されることができ、全スケジュールは各端末での呼出しに対し使用可能である。これらスケジュールは、共通使用可能時間を決定するために呼び出し、スキャンすることができる。もしスケジュールが“一度に一日”を基にした叙述形式でのみ使用可能ならば、これは莫大な時間消費型である。“一度に一月”形式に短縮されたスケジュールまたはカレンダが呼出しに

50 対して使用可能なときでさえ、使用可能な時間について

3

の観念的または紙と鉛筆による表示法はエラーを犯し易く、大変な作業である。

【0004】先行技術は上記の問題を解決するために、さらなる発展を遂げている。カレンダ・アプリケーション・プログラムは、端末ユーザが接続されているホスト・コンピュータに記憶され、出席予定者のカレンダを読むことができ、使用可能なミーティング時間と日付のリストを与えることができる。このようなシステムの一例は米国特許第4,626,836号明細書において開示されている。この米国特許明細書が開示する技術によると、使用可能時間および日付が、スケジューラによって与えられた日付と時間の範囲から導かれ、このリストからミーティング・スケジューラは適切な時間と日付を選択することができる。

【0005】より最近、この技術は米国特許第07/51,687号明細書において発展を見た。そこでは、出席予定者のカレンダを検証する方法は非常に発展し、出席予定者のカレンダを検証する効果的な方法が提供され、カレンダの内容は、予め定められた日付の範囲内で予め選択された時間範囲を修正するのに利用され、所望のミーティングに可能なオプションを与える。

【0006】これらのシステムがカレンダリング技術において示した発展にもかかわらず、現在、出席予定者が、それに基づいて所望のミーティングへの出席を同意する選択条件の特定ができる方法または装置は存在しない。例えば、出席予定者は、自分は他の特定の出席者が出席しないときのみ、所望のミーティングに参加する必要があるということを決定するかもしれない。出席予定者が出席者確定パラメータの特定を許されるようなシステムを提供することにより、データ・プロセッシング・システムにおけるミーティング・スケジューリングの処理は、大幅に発展することができる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、ミーティング・スケジューリングの改良された方法を提供することにある。

【0008】本発明の他の目的は、データ・プロセッシング・システムの中で、記憶された出席者カレンダを利用して、ミーティングをスケジューリングする改良された方法を提供することにある。

【0009】本発明の他の目的は、ミーティング出席予定者が、それに基づいてミーティングに出席する条件の特定を許される、ミーティング・スケジューリングのための改良された方法および装置を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記の目的は以下のようにして達成される。本発明の方法および装置は、データ・プロセッシング・システムにおいて、ミーティングをスケジューリングしたり確定したりするのに利用され、出席予定者のための記憶カレンダを含む。プロンプト画

4

面はブランクと共にスケジューラに提供され、所望のミーティング・パラメータをキー・インするようになっている。どんなパラメータかというと、所望の出席者のリスト、所望の日付範囲、所望の時間範囲である。プロンプト画面はまた、各出席予定者が、出席者確定パラメータをキー・インすることを許可し、このパラメータは、それに基づいて出席予定者が所望のミーティングへの出席に同意できるような条件を特定する。本発明の実施例に示されているように、ある出席予定者は、そのミーティングへの出席予定者たちの出席を確定するために、所望のミーティングへ出席するべきまたは出席すべきでないと選択された人物を識別することができる。所望のミーティング・パラメータと、出席者確定パラメータを持つ各出席予定者の比較は、使用可能ミーティング時間が必要な全パラメータを有するかどうかを決定するために利用される。

【0011】

【実施例】図1を参照すると、本発明の方法および装置を実施するに利用される分散データ・プロセッシング・システムの図が表示されている。これを見てわかるように、分散データ・プロセッシング・システム8は、複数のネットワーク、例えばローカル・エリア・ネットワーク (Local Area Networks: LAN) 10, 32を含み、各LANは好適に、複数の独立コンピュータ12および30を含んでいる。もちろん、当業者は、ホスト・プロセッサに接続された複数のインテリジェント・ワーク・ステーション (Intelligent Work Stations: IWS) が、このような各ネットワークに利用されることを理解するだろう。

【0012】このようなデータ・システムに共通して、各独立コンピュータは記憶装置14および/またはプリンタ/出力装置16に接続されている。1つまたはそれ以上のこののような装置14は、本発明の方法および装置によって利用され、個人のカレンダ・イベント・ファイルおよび出席者確定パラメータを記憶する。この記憶されたファイルおよびパラメータは、個人によって分散データ・プロセッシング・システム8の内部で周期的にアクセスされ、本発明の方法および装置を用いてミーティングをスケジューリングしようとする。先行技術ではよく知られているが、カレンダ・イベント・ファイルおよび/または出席者確定パラメータの各内容は、記憶装置14に格納され、この記憶装置は、それに伴う全文書の維持と更新に責任を負う資源管理プログラムを存在させる。

【0013】さらに図1を参照すると、分散データ・プロセッシング・ネットワーク8は、メインフレーム・コンピュータ18のような、多重メインフレーム・コンピュータを含み、このコンピュータは、ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 10に通信リンク22によっ

て好適に接続できることが理解される。メインフレーム・コンピュータ18はまた、記憶装置20にも接続でき、この記憶装置はローカル・エリア・ネットワーク(LAN)10に対する遠隔記憶として働き、通信制御装置26と通信リンク34とを経てゲートウェイ・サーバ28に接続できる。ゲートウェイ・サーバ28は、好適に独立したコンピュータあるいはインテリジェント・ワーク・ステーションであり、ローカル・エリア・ネットワーク(LAN)32とローカル・エリア・ネットワーク(LAN)10などをリンクする機能を持つ。

【0014】ローカル・エリア・ネットワーク(LAN)32およびローカル・エリア・ネットワーク(LAN)10に関して上に述べたように、複数のカレンダ・イベント・ファイルと出席者確定パラメータとは、記憶装置20の内部に記憶され、メインフレーム・コンピュータ18が、資源管理プログラムとして、またはそれらのファイルに対するライブラリ・サービスとして制御する。もちろん当業者は、メインフレーム・コンピュータ18がローカル・エリア・ネットワーク(LAN)10から地理的な遠隔地に配置され、同様にローカル・エリア・ネットワーク(LAN)10がローカル・エリア・ネットワーク(LAN)32からかなりの遠隔地に配置されることを理解するだろう。すなわち、ローカル・エリア・ネットワーク(LAN)32はカリフォルニアに置かれ、一方ローカル・エリア・ネットワーク(LAN)10はテキサスに置かれ、メインフレーム・コンピュータ18はニューヨークに置かれる可能性もある。

【0015】上記からわかるように、分散データ・プロセッシング・システム8の一部に含まれるユーザが、分散データ・プロセッシング・システムの別の部分の個人と、ミーティングをスケジューリングしようとするのは、望ましいことが多い。これを行うために、莫大なカレンダリング・プログラムは、使用可能となって、分散データ・プロセッシング・ネットワーク内の任意の位置に格納されたカレンダ・イベント・ファイルにアクセスし、ミーティング・スケジューラによって選択された所望のミーティング・パラメータを満たす使用可能なミーティング時間が存在するのかしないのかを決定する。しかし、このようなカレンダ・システムは、出席予定者に、それに基づいて出席者がミーティング参加に同意する条件を規定させることはしない。その結果、ミーティング出席予定者に複数のミーティング確定ルールを宣言させる必要が存在するのは明らかである。そのルールは出席予定者が、彼もしくは彼女の出席を、所望のミーティング・パラメータセットに対応して確定するのに利用される。

【0016】図2を参照すると、プロンプト画面50の図が示され、その画面は本発明のスケジューリング方法の最初にミーティング・スケジューラに提供される。当業者は、“ミーティング・スケジューラ”，“スケジ

ーラ”，“オペレータ”，および“ユーザ”という言葉が本明細書を通して、本発明を利用する個人の呼称として相互変換可能に利用されていることを理解するだろう。プロンプト画面50は、呼出しを受けた初期画面であり、ミーティングをスケジューリングしたいと望むキーボード/ディスプレイ端末オペレータに、分散データ・プロセッシング・ネットワーク8(図1参照)の中で提供される。オペレータはさらに、その間にミーティングをスケジュールしたい所望の日付と、ミーティングのための最小の時間と、出席予定者のリストとをキー・インする。

【0017】プロンプト画面50に示されているように、スケジューラは9/9/87と9/11/87の間に、少なくとも2時間30分を要するミーティングを開きたいということがわかる。さらに、オペレータは、スマス、ジョーンズ、ジョンソン、ジャクソン、およびブラウンという個人がミーティングに参加し、ミーティングは会議室A22で行われることを要求した。図2のプロンプト画面へのキー・インが完了すると、オペレータはENTERキーを押下する。これによって、プロンプト画面の内容は、出席予定者のカレンダ・イベントと比較され、その方法をここでより詳しく説明する。本発明における使用を意図したキーボード/ディスプレイ端末は一般に、陸線すなわちハードワイヤ、その他の手段を経て、プロセッシング、記憶、検索ケイバビリティを有する1つまたはそれ以上のホスト・システムに接続される。この性質の配置は先行技術において古くから知られていて、最も普通の画面技術はCRTディスプレイである。分散データ・プロセッシング・ネットワークには、全端末ユーザのためのイベントのスケジュールまたはカレンダが記憶されている。これらのスケジュールは、必要に応じて各ユーザによって準備され変更される。

【0018】プロンプト画面の内容と出席予定者のスケジュールとの比較の結果は、オペレータによって入力されたパラメータが満たされない使用可能日付およびミーティング時間である。従来のスケジューリング・システムにおいて、これらのミーティング時間はオプション・リストとしてオペレータに提供される。しかし、オペレータのミーティング・パラメータが満たすどんなミーティング時間も使用不可能なイベントにおいて、知られているのは、選択されたミーティング・パラメータを自動的に変えて、オペレータにオプションの最適化リストを提供することであり、各リストは、オペレータによって選択されたあるパラメータが満たされないという不備を含んでいる。

【0019】図3を参照すると、プロンプト画面60のピクチャ表示が示されていて、この画面は本発明の重要な特徴によって、出席予定者に提供される。図3に示されているように、プロンプト画面60は、分散データ・プロセッシング・ネットワーク8内の個人ユーザのた

めの、パーソナル・プロンプト画面である。プロンプト画面60は、ユーザのスミスによって利用され、彼は、様々な出席者確定パラメータをキー・インし、このパラメータは、ユーザのスミスが所望のミーティングへの出席に同意するか否かを決定するのに利用される。

【0020】プロンプト画面60に示されているように、ユーザのスミスは、スミスが出席に同意するためにミーティングへの出席を確定しなければならないミーティング出席者名を入力できる。図示したように、ユーザのスミスはジャクソンを入力した。これはユーザのジャクソンは、そのミーティングへの出席をユーザのスミスが確定するに先立って、所望の全ミーティングへの出席を確定せねばならないことを示している。さらに、プロンプト画面60は、ユーザのスミスは、スミスがそのミーティングへの出席に同意するためにはミーティングへの出席を確定する必要がない、ミーティング出席者名を入力するのも許可している。このような状況は、ユーザのスミスと他のユーザが互いに代理を務めるのに同意し、両方のパーティへの出席は必要でないという状況において存在する。このようにして、プロンプト画面60に示されるように、ユーザのスミスは名前マーチンを入力した。この方法に従えば、所望の出席者としてユーザのスミスを含む、所望のミーティングは、ユーザのマーチンが確定出席者としてそのミーティングのリストに入っていても、ユーザのスミスによって確定されないであろう。

【0021】さらに、プロンプト画面60は、ユーザのスミスによって利用され、彼は、種々の特別なケースのミーティング出席者を入力し、それら出席者は種々のプール代数演算子を用いて他の出席者とリンクされる。例えば、ユーザのスミスは、プロンプト画面60を用いて、ユーザのジョーンズまたはユーザのブラウンがミーティングに対して（出席を）確定する限り、そのミーティングに出席することを指示する。種々のユーザ名をタイプし、プロンプト画面60にリストされた適切な機能キーを選択することにより、ユーザのスミスは確定ルールのセットを特定できる。このルール・セットは、スミスという出席者確定パラメータによって支配され、このパラメータは、ユーザのスミスがスケジューリングが望まれている任意のミーティングへの出席に同意するか否かを決定する。

【0022】もちろん、当業者は、グラフィック・ユーザ・インターフェースを本発明の方法および装置によって利用できることを理解するだろう。すなわち、ユーザのスミスは、グラフィック指示装置を利用して、ユーザ名をプロンプト画面60内の“出席しなければならない” ウィンドウまたは“出席する必要はない” ウィンドウにドラッグシ、図3と同じ目的を達成する。

【0023】図4を参照すると、オプション画面70が図示され、この画面は、本発明の方法および装置による

所望のミーティング・パラメータと、所望の出席者カレンダと、出席者確定パラメータとの比較から得られた結果である。図のように、プロンプト画面70は、ミーティング・オプション・リストを含み、このリストは、各可能ミーティングの曜日、日付、開始時間、終了時間を宣言し、この可能ミーティングは、スケジューラ所望のミーティング・パラメータに対する解決案としてスケジュールされている。もちろん、所望のミーティング・パラメータの自動的变化が可能なカレンダ・システムにおいて、プロンプト画面70は、スケジューラ所望のミーティング・パラメータに対する可能な解決案として、選択された時間範囲、日付範囲、出席者リストを含んでいて、これらは全所望ミーティング・パラメータを満たすわけではないことを、当業者は理解するであろう。

【0024】図5を参照すると、ミーティング通知画面80の図が表示され、この画面は本発明の方法および装置によって作成される。ミーティング通知画面80は、スケジューラに図4に示すミーティング・オプション・リストからオプションを選択させ、スケジューラにミーティングの目的を入力するようプロンプトすることにより、好適に作成される。ミーティング通知画面80は、本発明の方法および装置によって好適に利用され、電子メールまたは他の適切な手段によって各出席予定者にミーティングの通知を送る。

【0025】最後に図6を参照すると、本発明の方法および装置によるミーティング・スケジューリングを示す論理フローチャートが示されている。処理はブロック100に始まり、ブロック102に渡され、ブロック102は、ミーティングをスケジューリングまたは再スケジューリングすることが望ましいか否かの判断を示している。当業者は、前もってミーティングをスケジュールしたにもかかわらず、優先度の高い個人のスケジュールの変更によって、ミーティングの再スケジューリングが必要となることを理解するであろう。さらに、あるカレンダ・システムは、出席予定者が、スケジューリングされたミーティングに出席するか否かを、任意に決定することを許容する。各イベントにおいて、所望のミーティング・パラメータおよび出席者確定パラメータに関するミーティングの確定は、全パラメータが、スケジュールの変更または出席者リストの変更の結果として満たされるか否かを判断するために、再適用される必要がある。出席者リストの変更は、1人以上の出席者が、彼らの確定状況を変更すると決定することにより生ずる。どんなスケジューリングも再スケジューリングも所望されないイベントにおいて、このイベントが生じる時間まで、処理は単純に繰り返される。

【0026】スケジューラがミーティングのスケジューリングまたは再スケジューリングを望むイベントにおいて、処理は、ブロック102で決定したように、ブロック104に移り、ブロック104は、ミーティング・パ

ラメータに対するスケジューラの指示を示す。この処理は、図2のプロンプト画面50を利用して達成され、スケジューラに、所望の日付範囲、所望の時間範囲、出席予定者のリストを少なくとも含む複数のミーティング・パラメータを入力することを要求する。さらに、本発明の図示の実施例により、スケジューラは所望のミーティングのための所望の場所を入力することができる。このイベントにおいて、カレンダ機能は必ず所望の場所に対する記憶カレンダ・イベントを検証し、それが所望のミーティング・パラメータを含めたミーティングに使用可能か否かを判断する。

【0027】次に、処理はブロック106に移り、ブロック106は、使用可能日付および時間のリストの公式化を示す。これは、図6に示されているように、ブロック108の参照によって起こり、ブロック108は、分散データ・プロセッシング・ネットワークの内部の各出席予定者に対する記憶カレンダ・イベント・ファイルを示す。システム内に記憶されたカレンダ・イベントを再吟味することにより、従来の技術でよく知られるどんな方法を使用しても、使用可能日付および時間のリストを公式化することができる。このリストは、所望のミーティング・パラメータに従うか、あるいは選択的にスケジューラにオプションの最適化リストを提供し、この最適化リストは、所望のミーティング・パラメータからの不備を含んでいる。

【0028】次に、処理はブロック110に移り、ブロック110は、使用可能ミーティング・パラメータと、出席者確定パラメータとの比較を示す。これはブロック112に示されるように、記憶出席者確定パラメータにアクセスすることにより実行される。前記明細書の参照により、当業者は、プロンプト画面60が、各出席予定者によって複数の確定パラメータを入力するのに利用され、この確定パラメータはさらに、分散データ・プロセッシング・ネットワーク8の内部の任意の適切な位置に記憶することができるのを理解するだろう。

【0029】所望のミーティング・パラメータと、各出席予定者のカレンダ・イベント・ファイルと、出席者確定パラメータとを比較した後、ブロック114は、オプション画面をスケジューラに提供することを示す。このオプション画面は、図4に示されたのと同じタイプにでき、複数の可能なミーティング・オプションを含み、このオプションは、全所望ミーティング・パラメータを含むかまたは、全ミーティング・パラメータが満たされないというときに最適な解決案を提供する。次に、処理はブロック116に移り、ブロック116は、スケジューラの選択およびスケジューラの指示によって、ミーティングの目的を入力するように、セッティングする。この

情報はさらに、指示画面を、図5の指示画面80のようにフォーマットするのに利用される。

【0030】最後にブロック120は、各出席予定者に指示を転送することを示し、ブロック122は、その指示を各出席予定者が受け取ることを示す。

【0031】前述の説明により、当業者は、複雑なデータ・プロセッシング・システムの内部でミーティングが確定されスケジューリングされ、その一方で各ミーティングの出席予定者に、複数の特定の出席者確定パラメータを宣言することを許可し、そのパラメータは出席者が特定のミーティングへの参加に同意するか否かを左右するという、方法および装置を本出願は開示していることを理解するだろう。このようにして、マン・パワーおよび管理者資産の効率的な利用は、各出席者によって宣言されることのできるパラメータを含むことによって、非常に強化される。もちろん、当業者は、個人の出席予定者確定パラメータが行うべきミーティングの妨げになるという状況を解決するのに、種々の困難解決メカニズムが利用できるということを理解するだろう。

20 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の方法および装置を実行するのに利用される、分散されたデータ・プロセッシング・システムを示す図である。

【図2】本発明の方法および装置によってミーティング・スケジューラに提供されるプロンプト画面を示す図である。

【図3】本発明の方法および装置によって出席予定者に提供されるプロンプト画面を示す図である。

【図4】所望のミーティング・パラメータ、所望の出席者カレンダ、および出席者確定パラメータから導かれるオプション画面を示す図である。

【図5】本発明の方法および装置によって作成されたミーティング通知画面を示す図である。

【図6】本発明の方法および装置による、ミーティングのスケジューリングを示す論理フローチャート図である。

【符号の説明】

8 分散データ・プロセッシング・システム

10, 32 ローカル・エリア・ネットワーク

12, 30 独立コンピュータ

14, 20 記憶装置

16 プリンタ/出力装置

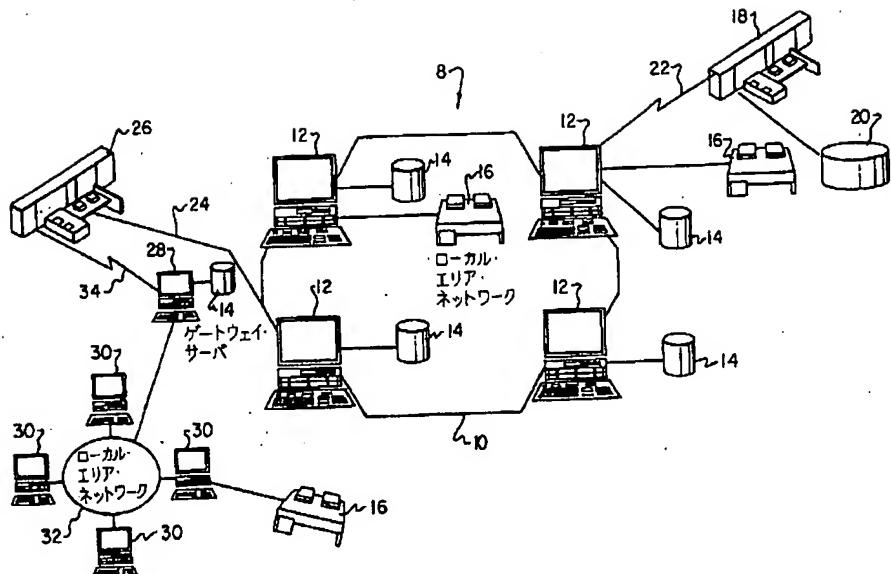
18 メインフレーム・コンピュータ

22, 34 通信リンク

26 通信制御装置

28 ゲートウェイ・サーバ

【図1】



【図2】

【図3】

60

SMITH ATTENDEE CONFIRMATION PARAMETERS	
ENTER MEETING ATTENDEE NAMES WHO MUST CONFIRM SMITH ATTENDANCE	
<u>JACKSON</u>	
<u> </u>	<u> </u>
<u> </u>	<u> </u>
ENTER MEETING ATTENDEE NAMES WHO MUST NOT CONFIRM FOR SMITH ATTENDANCE	
<u>MARTIN</u>	
<u> </u>	<u> </u>
<u> </u>	<u> </u>
ENTER SPECIAL CASE MEETING ATTENDEES AND SELECT LOGICAL OPERATOR	
<u>JONES</u>	<u>OR</u>
<u> </u>	<u>BROWN</u>
PF1 "OR" PF2 "AND" PF9 HELP PF12 RETURN	

1....+...10....+...20....+...30....+...40....+...50....+...60....+...70....+...80

【図4】

70

TIMES FOUND FOR A MEETING				
SEARCHED FROM THIS DATE: 09/09/87				
TO THIS DATE: 09/11/87				
AMOUNT OF TIME NEEDED: HOURS 2 MINUTES 30				
TO CHOOSE A DAY AND TIME, TYPE X NEXT TO YOUR CHOICE BELOW, CHANGE THE STARTING AND ENDING TIMES AS REQUIRED AND PRESS ENTER.				
CHOICE	DAY	DATE	STARTING	ENDING
-	WEDNESDAY	09/09/87	9:00 AM	12:00 PM
-	WEDNESDAY	09/09/87	1:30 PM	5:00 PM
-	THURSDAY	09/10/87	10:30 AM	6:00 PM
-	FRIDAY	09/11/87	8:30 AM	11:45 AM
-	FRIDAY	09/11/87	2:00 PM	5:15 PM
SCREEN 1 OF 1 PF1 TRY ANOTHER PF9 HELP PF10 NEXT SCREEN PF11 PREVIOUS SCREEN PF12 RETURN				

1....+...10....+...20....+...30....+...40....+...50....+...60....+...70....+...80

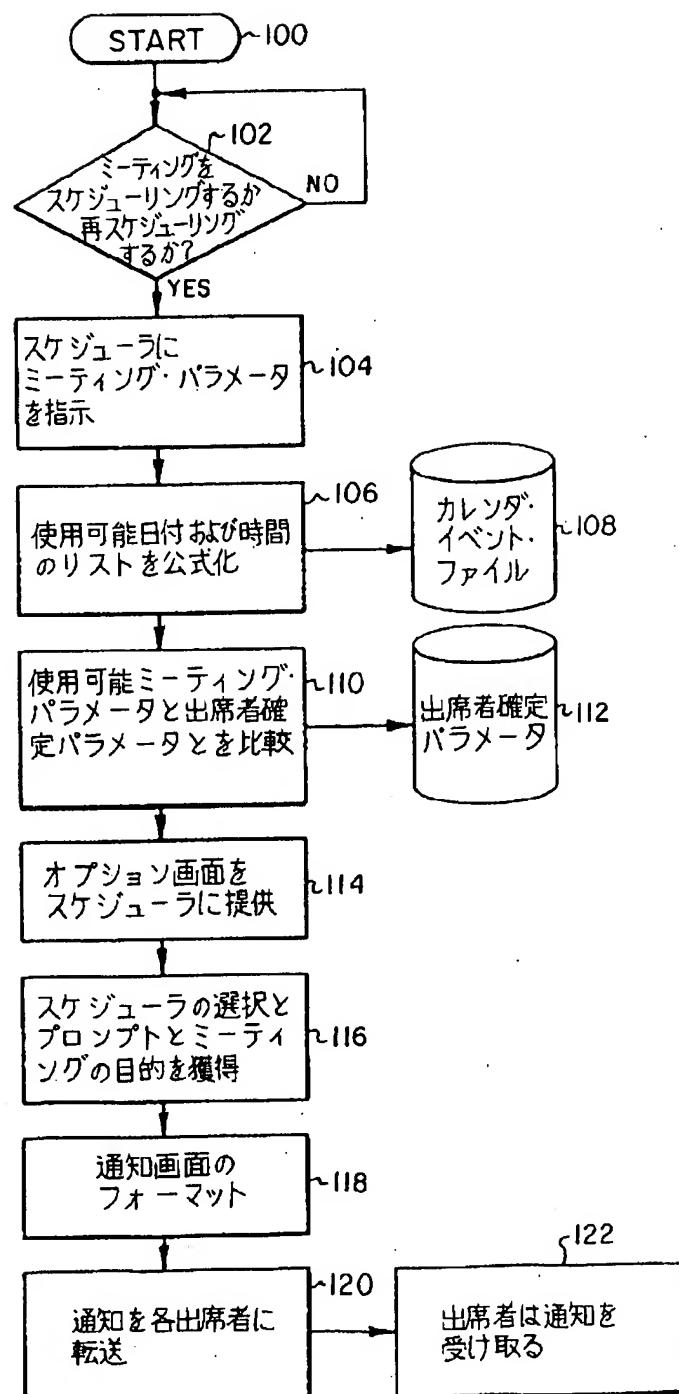
【図5】

807

SEND A NOTICE OF A MEETING	
DATE TO BE SCHEDULED:	9/11/87
STARTING TIME:	2:00 PM
ENDING TIME:	5:15 PM
TYPE IN THE INFORMATION BELOW. THEN, PRESS PF7 TO SEND.	
LOCATION:	THIRD FLOOR CONFERENCE ROOM (A 22)
PURPOSE:	WE NEED TO REVIEW THAT JANUARY SALES REPORT TO SEE IF WE NEED A NEW APPROACH FOR OUR FORTHCOMING PRODUCT. PLEASE BRING YOUR MONTHLY REPORTS FOR THE LAST YEAR, AND THE FORECAST FOR THIS YEAR.
PF1 TRY ANOTHER PF2 CHANGE TIME PF7 SEND PF9 HELP PF12 RETURN	

1....+...10....+...20....+...30....+...40....+...50....+...60....+...70....+...80

【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 デビッド・エル・グリフィン
アメリカ合衆国 テキサス州 ケラー 口
ックウッド ドライブ 1521

(72)発明者 パトリック・ジェイ・キーン
アメリカ合衆国 テキサス州 グレイブバ
イン ウッドグレン ドライブ 4345